

2026 年 2 月 13 日

科 目 名	受験番号：
ミクロ経済学	氏 名：

1. ある地域で取引されているあるサービスについて、需要 D と供給 S が以下のように与えられている。

$$D = 120 - 2p$$

$$S = 2p$$

ここで p はこのサービスの価格を表す。このとき、以下の問いに答えなさい。

- (1) 均衡価格および均衡取引量を求めなさい。(各 3 点、合計 6 点)
- (2) このサービスに対して、1 回あたり 10 の利用税が新たに課されることになったとする。
 - (a) 税導入後に利用者が支払う価格、提供者が受け取る価格、そのときの取引量をそれぞれ求めなさい。(各 4 点、合計 12 点)
 - (b) この税の負担は、利用者と提供者の間でどのように分かれるかを数値で示しなさい。(各 2 点、合計 4 点)
- (3) 税導入後に政府が得る税収はいくらか求めなさい。(2 点)

2. ある工場の短期費用関数が、次のように与えられているとする。

$$C(q) = 150 + 5q + q^2$$

ここで q は生産量を表す。このとき、以下の問いに答えなさい。

- (1) 生産量が $q = 10$ のとき、総費用、平均費用、限界費用をそれぞれ求めなさい。(各 3 点、合計 9 点)
- (2) この工場の総費用曲線、平均費用曲線、限界費用曲線を、それぞれ同一の座標平面上に図示しなさい。(各 3 点、合計 9 点)

3. ある独占市場の供給者の費用関数が以下のように与えられているとする。

$$C = 4Q + 20$$

ここで、 Q は生産量である。また、この市場の需要曲線は以下のように与えられている。

$$Q = 120 - p$$

ここで、 p は価格である。このとき、以下の問いに答えなさい。

- (1) 限界収入曲線を求めなさい。(8 点)
- (2) この独占企業が利潤を最大にする生産量と、そのときの価格を求めなさい。(10 点)

4. 次の文章の **A** ～ **E** に入る語句を答えなさい。(各 2 点、合計 10 点)

経済取引は経済主体に効用をもたらすが、取引していない経済主体に影響を及ぼすこともある。このことを **A** 効果とよぶ。特に、悪い影響を与えることを **B** と呼ぶ。これは、**C** の失敗の例である。**B** を解決するための政策介入として、直接的規制を行うことが考えられる。この場合、規制強化の限界的便益と **D** がちょうど等しくなるように規制すれば良い。また、税によっても解決できる。**A** 効果のコスト分を経済主体の行動を変えるために政府が導入する税を **E** という。

5. 「モラルハザード」とは何か、具体的な例を一つ挙げ説明しなさい。また、その解決策の例も述べなさい。(15 点)

6. 「囚人のディレンマ」の利得表の例を一つ作り、どこがナッシュ均衡になるか文章で説明しなさい。(15 点)